

【 概 要 】

2013年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【民間住宅ローン利用予定者編】(第2回)

I 調査の概要

今後5年以内に、住宅を取得する計画があり、かつ、民間住宅ローンを利用する予定の方を対象にして、住宅取得に向けた意識や行動、利用予定の住宅ローンの金利タイプなどについてインターネットによるアンケート調査を2013年10月に実施し、その結果を取りまとめたものである。

回答数:1,153件

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 「固定期間選択型」が減少

- ・「固定期間選択型」の希望割合は38.5%(前回調査[2013年6月]:39.2%)に減少し、「変動型」は26.6%(前回調査:24.8%)と増加した。一方、「全期間固定型」は34.9%:(前回調査:36.0%)と減少した。 <p.2>

2 住宅の買い時意識は減少

- ・今(今後1年程度)は住宅取得のチャンス(買い時)だと思う方の割合は、41.6%(前回調査:47.2%)に減少した。 <p.6>

3 住宅取得に当たっては「価格・費用」「耐震性能」とを重視する方が多数

- ・住宅取得時に特に重視するものとして、「価格・費用」「耐震性能」が引き続き上位である。 <p.10>
- ・住宅取得時に耐震性能を重視すると回答された方の46.1%が「コストアップしても、耐震性能を高めたい」と回答している。 <p.11>
- ・住宅取得時の条件として省エネ性能を重視すると回答された方の50.7%が「コストアップしても、断熱性能を高めたい(次世代省エネ基準の適用など)」、49.3%の方が「コストアップしても、太陽光発電設備を設置したい」と回答している。 <p.14>